

ご挨拶

平素より遠州信用金庫にご支援ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

遠州信用金庫は、地域金融機関として、各分野の専門家と連携し、金融のプロとして「お客様の実情に応じた課題解決提案」を、役職員一丸となって積極的に取り組んでおります。

中でも「お客様接点の多様化」「様々な分野で進むDX」などの環境変化は、暮らし・事業の大きな変革であります。同時に、デジタル技術を活用したシステム・サービスに潜む「サイバーセキュリティリスク」への適切な対応も「安心してご利用いただけるサービス」の1つであると認識しております。

当金庫は、2021年4月、信用金庫業界ではいち早く、デジタル推進専門部署「デジタル推進部」を設置いたしました。「デジタル推進」と「セキュリティリスク対策」の双方を統轄する部署を設置することで、当金庫役職員が「時代のニーズに対応し、安心して利用できるデジタルサービス」を提供可能な環境整備をしておりますが、より一層の「お客様支援体制整備」「業務効率化」「人財育成」が必須であると判断いたしました。

今回、当金庫の「DX戦略」を公表し、デジタル技術を活用した金庫業務体制を強固なものにしてまいります。

2024年9月 遠州信用金庫 理事長 鈴木 靖

遠

州

信

用

金

庫

基

本

方

針

01

中小企業の健全な発展に寄与する

02

豊かな家庭生活の実現を支援する

03

地域社会の発展に積極的に貢献する

遠州信用金庫の重要課題

遠州信用金庫 2024年度～2026年度業務計画より

01

職員の人財育成に特化しスキルランクアップによる地域金融機関としての価値を向上させる

02

事業・家計・地域の課題解決を行う伴走型営業の推進を強化する

03

生産性向上による収益力強化、リスク管理の徹底により強靱な経営体質の構築を図る

04

新人事制度の定着と健幸経営を充実させる

基本方針実現に向けた

職員の人財育成

基本方針

遠州信用金庫 2024年度～2026年度業務計画より

01 中小企業の健全な発展に寄与する

基本方針実現に向けた
職員の人財育成

企業の経営支援を行い優良化させるプロになること

02 豊かな家庭生活の実現を支援する

基本方針実現に向けた
職員の人財育成

個人のライフステージにおいて
より良い生活提案ができるプロになること

03 地域社会の発展に積極的に貢献する

基本方針実現に向けた
職員の人財育成

高齢化・人口減少の中で
地域経済を衰退させないプロになること

遠州信用金庫

DX-VISION

えんしんDX-VISION

デジタル技術を活用し、お客様の課題解決・伴走支援を実現することで、地域社会の発展に貢献する。

同時に、デジタル技術を活用し、庫内業務体制を効率化することにより、役職員の業務改善を実現、成果を地域企業に還元する。

えんしんDX-VISION戦略

- 01.お客様支援 お客様のニーズに的確に対応できる「金融デジタルサービス」の提供
- 02.業務効率化 デジタル技術を活用した「業務プロセスの見直し」「業務課題の改善」
- 03.人財育成 デジタル技術を活用した「課題解決ができる人財」の育成

非対面サービスを拡充させ、データ分析・利活用による営業活動を行う

個人向け アクションプラン

- ◆ システム投資の最適化
- ◇ スマートフォンやタブレットを使用した、非対面チャネル拡充
- ◆ 各種申込・手続きのWEB化 (WEBバンキング・アプリバンク等)
- ◇ ホームページ上のサービスの提供を拡大
- ◆ WEB・SNS広告等による情報発信・プロモーションを拡充
- ◇ オンラインセミナー・外部講師によるオンライン相談の実施

事業者向け アクションプラン

- ◆ 経営サポートデータベースからの合理的提案活動
- ◇ IT・デジタル化支援
- ◆ ビジネスマッチング支援
- ◇ RPA導入支援
- ◆ キャッシュレス化推進
- ◇ WEB・SNS広告等による情報発信・プロモーションを拡充
- ◆ CO2排出量算定サービスの提供

業 務 効 率 化

デジタル技術を活用した

「業務プロセスの見直し」「業務課題の改善」

アクションプラン

- ◆ 営業店バックオフィス業務の本部集約による業務効率化
- ◆ デジタル技術を活用した業務効率化ならびにペーパーレス化の推進
- ◆ 電子契約による庫内のルート決裁によるペーパーレス化
- ◆ 生成AI活用による業務効率の向上
- ◆ 音声認識AIによる窓口業務支援
- ◆ 事務フローを見直し、RPA等を使用して自動化し定型業務を削減
- ◆ 窓口支援システムを使用し、オペレーションや伝票起票業務を削減
- ◆ WEB取引完結取引を拡大させる
- ◆ 本支店間コミュニケーションのデジタル化
- ◆ ワークフローシステムの活用
- ◆ 庫内開発の経営サポートツールを使用し、営業支援を行う
- ◆ 庫内開発の電子稟議システムの活用

人財育成

デジタル技術を活用した「課題解決ができる人財」の育成

アクションプラン

- ・ デジタルスキルを持った専門人材の育成を行う
- ・ 全役職員のITリテラシー向上を図る
- ・ DX関連資格の取得を推奨する
- ・ RPA導入支援の出来る人財の育成
- ・ CSIRT対応班の質の向上
- ・ 情報リスクやセキュリティ対策の習得
- ・ データやデジタルツールを活用し、業務効率化の推進やお客様の抱える課題解決や支援等を行うことのできる人財育成を行う

戦略の達成状況に係る指標

1. 総合指標

・DX推進指標

2024年9月当金庫実績を基準とし、低値項目数を削減する。
DX戦略公表1年後（2025年10月）に再度自己分析を実施する。

2. お客様支援

・非対面チャネルを活用した商品・サービス申込件数を増加させる。

2023年度（2023年4月～2024年3月）実績を基準とし、
DX戦略公表後の2024年10月～2025年9月で20%増加させる。

3. 業務効率化

・年間業務残業時間の削減

2023年度（2023年4月～2024年3月）実績を基準とし、
DX戦略公表後の2024年10月～2025年9月で20%削減する。

4. 人財育成

・DX関連資格取得者数を増加させる。

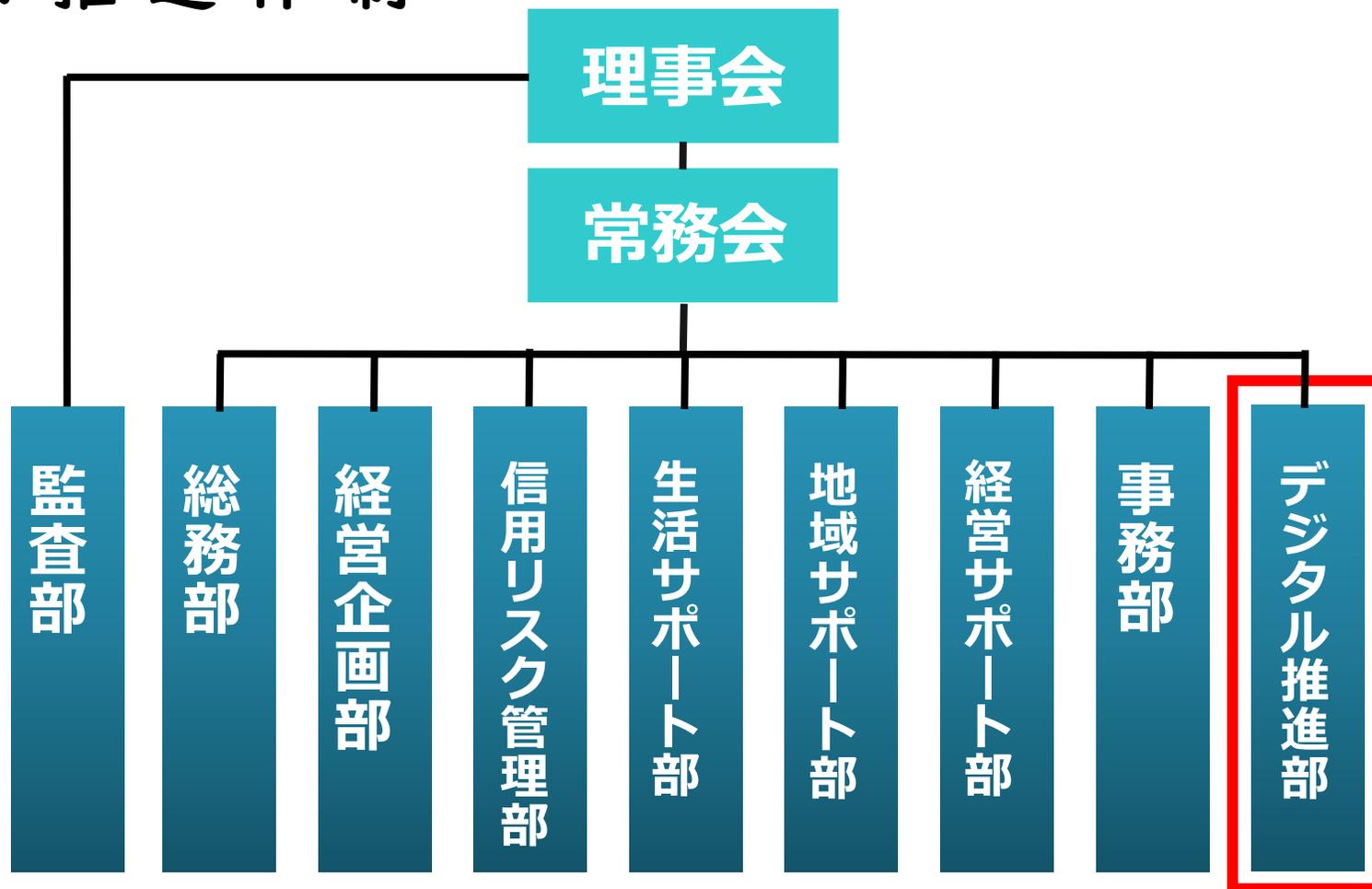
DX戦略公表後の2024年10月～2025年9月の間に

(1) ITパスポート資格取得役職員数を50名にする。

(2) DX推進パスポート (Di-Lite) における

「DX推進パスポート2」以上の取得役職員数を3名にする。

DX推進体制



統轄部署：デジタル推進部 デジタル推進部を中心にDX推進を行う。

セキュリティリスク対策：デジタル推進部と事務部が連携し、セキュリティ対策を講じる

ゆとりのくらしのパートナー



遠州信用金庫

※本文中の「人財」について
遠州信用金庫では「人材」を「人財」と表記しております。